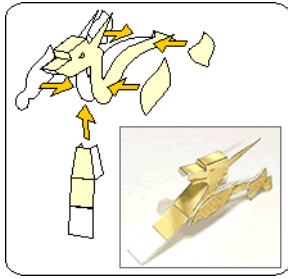


## 竜の飾り（前立）の組み立て



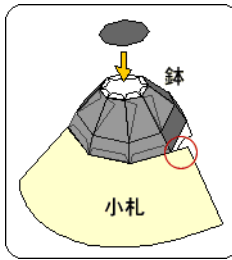
竜の鼻の部分は紙の側面で接着し、しっぽの先端は貼り合わせます。各パーツを図を参考にしながら取り付けてください。ひれ？は胴体側面の白い部分をガイドに左右対称になるようにします。

## 頭部飾りの完成



図のように3つのパーツをそれぞれの中心を意識しながら取り付けます。この時ひさしの部分はゆるやかなカーブになるように軽く曲げておきます。

## 鉢（頭にかぶる部分）の組立



図を参考に組み立てますが、鉢の接着はよく折り目をつけてから、1ヶ所ずつ丁寧に行ってください。また小札（スカート）はよく曲げぐせを付けておいて、鉢の接着がしっかり固定されてから取り付けてください。この場合4つの接着部をいっしょに取り付けてしまったほうが、位置が決まりやすいと思います。

図の赤丸部分（小札の両端部）はまだ接着しませんので注意してください。

## 各部取り付け

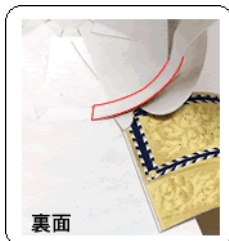


先程作った飾りを取り付けます。鉢の両端にあるパーツ取り付け用の"みみ"を利用して接着します（青丸部）。

吹き返し（両側にある大きな耳）は半分に折って接着し、半円上になるぐらい曲げておきます。左右間違わないように注意。

図の赤丸部は、吹き返しの角の接着部にのりをつけ、鉢と小札の間に挟み込んで強く押さえて接着します。

## ひもの取り付け



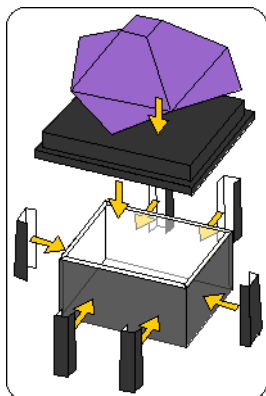
最後にあごひもを取り付けます。写真を参考に位置決めをして接着します。

## 兜の完成写真



注) 作例は試作段階のものなので、一部配色が異なる部分があります。

## 飾り台の組立て

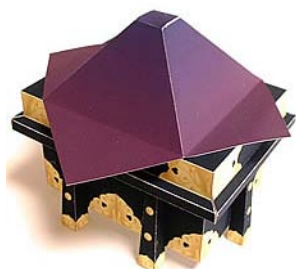


まず兜を置く台を組み立てます。両サイドの三角形の部分は水平に折り曲げておきます。

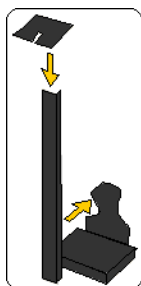
次に飾り台本体の枠組みと、水平台の部分を組立てます。図と完成写真を参考にいただければ、難しくはないと思います。

組み立てた部品それぞれを縦に積み上げるように接着します。最後に足をそれぞれの位置に取り付けます。ここでも紙の側面（紙の厚み）を利用して接着します。ガイドになる線を参考にに取り付けて下さい。

## 飾り台の完成写真

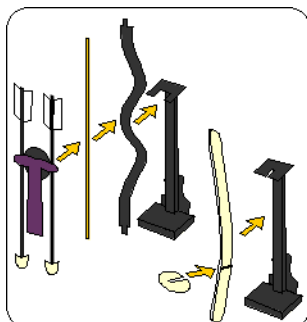


## 弓・刀の飾り台の製作



図のような手順で組み立てます。刀の飾り台の方は、刀を後で挿し込みますので切り込みを入れておきます。

## 弓・刀の組立て



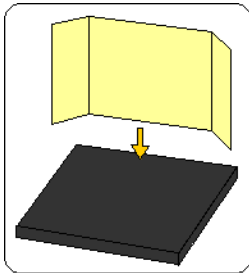
弓はパーツの下に描いてあるガイド線を参考にして折り曲げます。その上に弦、矢の順で接着します。弓と矢の下端がそろうように位置を調節して下さい。出来上ったら飾り台に取り付けします。

刀は半分に折って接着した後、つばのパーツに切り込みをいれ、刀の黒太線部をガイドに挿し込みます。出来上ったら飾り台に挿し込んで取り付けます。

## 刀・弓飾りの完成写真



## ベースと屏風の組立て



ベースを組み立てた後、屏風を接着します。最後にそれぞれ出来上がったものを配置して完成です。

おつかれさまでした。

## 完成写真

